

大池公園整備計画

平成 30 年 6 月

矢 吹 町

はじめに



矢吹町長 野崎 吉郎

大池は、新田開拓の貴重な水源として湿地帯を灌漑用ため池として整備し、堀川を介して水田に利用されてきました。

その後、大池公園は、昭和59年から「水・花・緑が香る公園」をテーマに総合公園として整備され、春の桜に始まり、初夏の大賀ハス・睡蓮、年間を通して景観を楽しめるアカマツ林など、四季折々の自然が楽しめる憩いの場として町民の皆様に親しまれております。

当公園は、町の観光資源、文化資源としても重要な公園であり、第6次矢吹町まちづくり総合計画及び矢吹町都市マスタープランにおいても、都市機能拠点の一つとして「水と緑の拠点」に位置付けられ、魅力が最大限に発揮でき自然環境の保全を前提にレクリエーション機能、コミュニケーション機能、アメニティ機能の充実を図ることとしております。

この度、本町の開拓の歴史の象徴である大池公園が、より一層多くの皆様に親しまれ、魅力ある賑わいの空間となるよう「大池公園整備計画」を策定することにしました。

本計画の策定にあたっては、大池公園の魅力やニーズ、求められる役割などについて、利用者、町民の皆様の意見を幅広く取り入れるためにワークショップを開催するとともにアンケートを実施しました。その結果、大池公園の魅力は豊かな自然景観であるとの意見が多かったことから「大池八景～自然と景観の魅力が多様な利用者を拡大し、町を代表する水と緑の拠点を目指す」というコンセプトを掲げました。

大池八景とは、中国の瀟湘八景や日本の近江八景、金沢八景を参考に、大池公園の魅力的な景観を八つにまとめ、それを大切にしながら、利用者にとってより魅力的な公園への進化を目指すものです。

今後は、今回策定した「大池公園整備計画」に基づき、時代に即した魅力ある賑わいのある空間を目指し、町民の皆様の憩いと活動の場となる、大池公園としてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、計画の礎となる貴重なご意見を賜りましたワークショップに参加された皆様や、アンケートにご協力をいただきました皆様をはじめ、多くの関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

平成30年5月

監修にあたって



東京農業大学農学部 教授
小池 安比古

福島県の矢吹町のことを知っている人たちはいったいどれくらいいるのだろうか。福島県内には観光名所はいくつもあり、舌鼓を打つ名産のものも随所にあって、どこが一番おすすめのところかと聞かれても、いっぺんに矢吹町の名前があがることは少ないのが現実ではないだろうか。矢吹町のことを広く世間に知らしめる方策はいろいろと考えられるが、そのひとつの策として大池公園の再生に取りかかることにした。

矢吹町の北部に位置する大池公園は、もとは羽鳥ダム湖から用水を引き入れ田畑を潤す農業用水の貯水池であったが、「水・花・緑が香る公園」をテーマに昭和59年から平成16年にかけて公園としての整備が行われた。大池を中心に、ソフトボール場、キャンプ場、遊具広場、日本庭園、直売所などが配置されているが、整備から十数年が経過し、施設の老朽化、利用者ニーズの多様化が進行している。大池公園のシンボルともいえる松林、大賀ハスの再生、維持は急務であるが、そのほかにも時代の流れに沿った大池公園そのものの再生が必要であることを感じている。

大池公園再生のための整備計画にあたって、まずは大池公園を取り巻く社会の動向を調べ、現況と公園利用者のニーズを把握して、大池公園を再生するための課題を抽出した。そのうえで、整備計画のコンセプトと基本方針を設定し、整備計画を立案した。その作業過程において、大池公園という「モノ」だけにこだわらず、大池公園を舞台とした「コト」をおこし、にぎわいを創出する仕掛けをつくりだす大切さに気付かされた次第である。大池公園を矢吹町の観光・文化資源であることを再認識し、単なる公園としての位置づけに終わらせることなく、その魅力を最大限に発揮できるように、時代の要請にも対応し、レクリエーション機能、コミュニティ機能およびアメニティ機能の充実を図ることを目標と定めた。短期（3年）、中期（5年）、長期（10年）にわたっての目標達成に向けての取り組みについても具体的に提示した。この大池公園整備計画が大池公園はもちろん、そして矢吹町のことを広く知らしめることに寄与できるものと確信している。

本整備計画の作成にあたっては、関係のみなさまにご尽力いただいた。この場をお借りして感謝申し上げます。

平成30年5月

目次

はじめに.....	1
■公園を取り巻く動向.....	1
■計画の目的.....	1
■都市公園の種類.....	2
1. 現況把握.....	3
1-1. 大池公園の現状.....	3
1-1-1. 概要.....	3
1-1-2. 施設.....	5
1-1-3. 利用者.....	15
1-1-4. イベント.....	16
1-1-5. 過去のアンケート調査.....	17
1-1-6. 生態的特徴.....	18
1-2. 大池公園の位置付け.....	19
1-2-1. まちづくり.....	19
1-2-2. 公園.....	22
1-2-3. 景観.....	22
1-3. 周辺施設.....	23
1-4. 都市公園の利用動向.....	31
1-4-1. 公園に対する要望.....	31
2. 利用者ニーズの把握.....	33
2-1. 利用者アンケート調査.....	33
2-1-1. 休日の調査結果.....	33
2-1-2. 平日の調査結果.....	39
2-1-3. 全体の調査結果（休日・平日の合計）.....	45
2-1-4. 施設等の満足度.....	51
2-1-5. 必要な施設・機能.....	52
2-2. ワークショップ.....	53
2-2-1. 第1回ワークショップ.....	54
2-2-2. 第2回ワークショップ.....	56
2-2-3. ワークショップのまとめ.....	58
2-3. 利用者ニーズのまとめ.....	60
2-3-1. 利用者の評価.....	60

2-3-2. 利用者層毎のニーズ.....	63
3. 課題抽出と方向性	64
3-1. 現況からの課題抽出と方向性.....	64
3-2. 将来想定からの課題設定.....	65
4. コンセプトの設定	67
4-1. 大池公園の魅力	67
4-2. 大池公園の景観の構図.....	69
4-3. 共有できる目標像としての景観.....	72
4-4. コンセプト	74
5. 基本方針の設定	75
5-1. 保全基本方針	76
5-2. 整備基本方針	79
6. 整備計画案	82
6-1. 全体計画	82
6-1-1. 公園全体の整備内容.....	82
6-2. ゾーニング計画	82
6-2-1. ゾーンの設定	82
6-2-2. ゾーン毎の整備内容.....	84
6-3. 整備・管理・活用の整備工程計画.....	94
6-4. 公園づくりでの連携・参加協働.....	97
6-4-1. 公園リピーターの整備参加について	97
6-4-2. 大学等との連携について.....	99

はじめに

■公園を取り巻く動向

アカマツ林に囲まれた大池は、昭和 59 年から公園整備が始まっているが、羽鳥ダム湖から用水を引き入れ田畑を潤す農業のための水源貯水池である。まさに当町の農地開拓のシンボリックな存在だったといえる。

公園整備の始まる昭和 59 年は、第三次全国総合開発計画^(※1)が提起された後期にあたる。そのため全国で居住環境の基盤整備として公園の整備拡大が始まった頃である。

大池公園は、総合公園として整備され、レクリエーションに関わる多様なニーズに対応すべく総花的^(※2)な施設配置が行われ、町民内外の利用者に楽しまれてきて現在に至っている。

一方、少子高齢化・人口減少が進み、他のレクリエーション施設やモータリゼーションの発達、ニーズの多様化により、公園利用が質・量とも変わってきている。施設も老朽化し、利用者ニーズに必ずしも適合していなくなっている。

また、公園の利用も、既定の遊び利用から自然体験や環境学習、健康スポーツなどのプログラム利用型へと変化している。そのため公園管理も、庭園のような形式管理から、利用者を巻き込んだ集中と選択型の協働型管理にシフトしている例もある。

我が国の少子高齢化・人口減少が進む中で、公園の性格付けの見直しは全国的な課題であり、「防災機能」の付加は進んでいるが本質的な公園のあり方の革新には至っていない。そのため、造り手、使い手、守り手それぞれの連携・協働による「育てる見直す社会実験的なプロセス事業」を試行し、公園のあり方の改善・改修の回答を探る作業が始まっている。

■計画の目的

大池公園の整備は、池と町木のアカマツの生い茂る自然空間を活かし、町民、近隣市町村の人々のやすらぎと憩いの場とするため、昭和 59 年より事業着手し平成 16 年度に完成した。少子高齢化社会が進む中で、公園利用者の入り込み客数や利用実態も変化していると思われる。

大池公園は、当町の観光拠点にも位置づけられていることから従来の住民利用だけでなく、町外の観光レクリエーション利用者にも魅力のある、より大池の潜在的な価値を活かした公園づくりが期待される。また、さまざまな施設が整備されているが、統一感が欠ける。

そのため、リピーターのニーズの変化への対応や新たな利用者の掘り起しによる公園のリニューアルを図り利用拡大を実現するための新たな統一性を図った方針づくりが求められている。

本計画の目的は、公園利用者アンケート及び大学や専門家・団体を含む町民によるワークショップ等を実施し、さまざまな意見による評価やニーズの分析を行い、統一感を持った整備、環境保全や魅力増進に資する整備計画を策定するものとする。

※1 1977 年(昭和 52 年)からおおよそ 10 年で人間と自然との調和のとれた「人間居住の総合的環境」を計画的に整備することを基本的目標とし、開発のコンセプトとして「定住圏構想」が提起され、地方の時代とも言われた。

※2 関係者すべてに利益・恩恵を与えるやり方

■都市公園の種類

大池公園は、都市公園の種類として総合公園に該当するが、都市公園の種類には以下のものがある。総合公園は、住民全般の総合的な利用に供する公園である。

表 都市公園の種類

種類	種別	内容
住区基幹公園	街区公園	もっぱら街区に居住する者の利用に供することを目的とする公園で誘致距離 250m の範囲内で 1 箇所当たり面積 0.25ha を標準として配置する。
	近隣公園	主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする公園で近隣住区 ^(※1) 当たり 1 箇所を誘致距離 500m の範囲内で 1 箇所当たり面積 2 ha を標準として配置する。
	地区公園	主として徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とする公園で誘致距離 1 km の範囲内で 1 箇所当たり面積 4 ha を標準として配置する。都市計画区域外の一定の町村における特定地区公園（カントリーパーク）は、面積 4 ha 以上を標準とする。
都市基幹公園	総合公園	都市住民全般の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ 1 箇所当たり面積 10～50ha を標準として配置する。
	運動公園	都市住民全般の主として運動の用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ 1 箇所当たり面積 15～75ha を標準として配置する。
大規模公園	広域公園	主として一の市町村の区域を超える広域のレクリエーション需要を充足することを目的とする公園で、地方生活圏等広域的なブロック単位ごとに 1 箇所当たり面積 50ha 以上を標準として配置する。
	レクリエーション都市公園	大都市その他の都市圏域から発生する多様かつ選択性に富んだ広域レクリエーション需要を充足することを目的とし、総合的な都市計画に基づき、自然環境の良好な地域を主体に、大規模な公園を核として各種のレクリエーション施設が配置される一団の地域であり、大都市圏その他の都市圏域から容易に到達可能な場所に、全体規模 1000ha を標準として配置する。
国営公園		主として一の都府県の区域を超えるような広域的な利用に供することを目的として国が設置する大規模な公園にあつては、1 箇所当たり面積おおむね 300ha 以上を標準として配置する。国家的な記念事業等として設置するものにあつては、その設置目的にふさわしい内容を有するように配置する。
緩衝緑地等	特殊公園	風致公園、動植物公園、歴史公園、墓園等特殊な公園で、その目的に則し配置する。
	緩衝緑地	大気汚染、騒音、振動、悪臭等の公害防止、緩和若しくはコンビナート地帯等の災害の防止を図ることを目的とする緑地で、公害、災害発生源地域と住居地域、商業地域等とを分離遮断することが必要な位置について公害、災害の状況に応じ配置する。
	都市緑地	主として都市の自然的環境の保全並びに改善、都市の景観の向上を図るために設けられている緑地であり、1 箇所あたり面積 0.1ha 以上を標準として配置する。但し、既成市街地等において良好な樹林地等がある場合あるいは植樹により都市に緑を増加又は回復させ都市環境の改善を図るために緑地を設ける場合にあつてはその規模を 0.05ha 以上とする。（都市計画決定を行わずに借地により整備し都市公園として配置するものを含む）
	緑道	災害時における避難路の確保、都市生活の安全性及び快適性の確保等を図ることを目的として、近隣住区又は近隣住区相互を連絡するように設けられる植樹帯及び歩行者路又は自転車路を主体とする緑地で幅員 10～20m を標準として、公園、学校、ショッピングセンター、駅前広場等を相互に結ぶよう配置する。

※1 近隣住区＝幹線街路等に囲まれたおおむね 1km 四方(面積 100ha)の居住単位

1. 現況把握

本章は、大池公園の施設や利用状況、本町における大池公園の位置付け、周辺の類似施設、都市公園利用実態調査からの公園の利用動向など、大池公園と大池公園を取り巻く現状をまとめている。

1-1. 大池公園の現状

1-1-1. 概要

大池公園は、矢吹町の北部に位置しており、「水・花・緑が香る公園」をテーマに、池と町木のアカマツの生い茂る自然空間を活かした総合公園である。供用面積は19.40haで、昭和59年より事業着手し平成16年度に完成した。



南側から北側を望む

大池公園が公園として整備される以前は、灌漑用の溜池であった。古くは、白河藩の『白河風土記』〔文化二年（1805）〕巻十一の矢吹新田村の項に「大池」がみえる。

矢吹新田村は、「寛永十年（1633）矢吹町會田惣左衛門が新田を開発して、「村」として認知され、二男太郎左衛門が庄屋となった」と、ある。

大池は、東西百八十間（約324メートル）、南北百間（180メートル）と記載されている。おそらく新田開発の貴重な水源として湿地帯が溜池として整備され、堀川が流下して水田が広がったのであろう。

大池は、別に「あゆり沼」、堀川は「あゆり川（阿由里川）」と称されているが、明治期以後と考えられ、語源は諸説あり、定説はない。その一部をあげると、

- ① 葦の浮島がゆれる → 葦ゆれる沼 → アシユレ → アユリ
- ② 岸辺に揺れる葦 → 葦ゆれる沼 → アシユレ → アユリ
- ③ 鮎のすむ池 → 鮎の里 → アユリ
- ④ アイヌ語で矢の柄を「アイル」と言い、アイルは葦でつくるところから
→アイル → アユリ

など、語られているが、「あゆり」が文学的、ロマンチックな響きをもつところから「あゆり祭」「あゆり姫」「あゆり温泉」「あゆり米」など多用されている。

一帯は、小松林に囲まれ、戦時中は、成長したアカマツから、松根油、薪、用材の採取、食糧難から開墾畑がつけられたが、戦後になり、周辺は開拓地として計画的に農地が入植した。大池も単なる溜池から、貯水池として整備された。

公園内は、池を中心に、ソフトボール場、キャンプ場、遊具広場、日本庭園、直売所などが配置され、各施設は、池の周囲にある約 1.5 kmの遊歩道で往来できる。日本庭園には『大賀ハス（古代ハス）』があり、公園のシンボルとなっている。

大賀ハス（別名 2 千年ハス）

1951 年（昭和 26 年）千葉県検見川（けみがわ）遺跡で、大賀一郎博士により二、三粒の蓮の実が発掘されました。この推定 2000 年以前の蓮の実は、翌年見事に花を咲かせました。博士の偉業をたたえ大賀ハスと名付けられ、千葉県の天然記念物となっております。なお、矢吹町が譲り受けたものは純系といわれております。花色は桃紅色、花形は一重、大輪径 22cm 前後です。



（出典：矢吹町 HP）

1-1-2. 施設

大池公園には、子どもを対象とした遊具、健康志向の利用者を対象とした健康遊具や遊歩道、鑑賞利用者を対象とした親水施設・日本庭園、運動のできるソフトボール場・草原広場、そしてキャンプ場があり、子どもから高齢者まで楽しめる施設を備えた総合公園である。

エリア毎に施設の現状を以下に整理する。




表 1-1-1 大池公園の施設の現状

エリア	施設	概要	
中央エントランス	①_駐車場 	整備年度	
		施設概要	道路を挟んで2箇所設置されている。
		利用状況	
		その他	普通 135 台、大型 3 台 車椅子用 3 台が整備されている
	②_エントランス広場 	整備年度	平成 15 年度
		施設概要	イベント広場、親水池が整備されている。
	利用状況	イベントを開催する際に利用している。 親水池は利用停止中。	
	その他		
健康広場	③_健康遊具 	整備年度	平成 28 年度
		施設概要	さまざまな健康遊具があり、運動強度に併せて行うことができる。
		利用状況	散歩と併せて利用している。
		その他	すべり台、ブランコ、うんてい、ジャンプタッチ、など
	④_越流堰 	整備年度	
		施設概要	貯水量を調整するための施設である。
	利用状況		
	その他	越流しているときは曲線に水が流れよい景観の視点場となる。	
ちびっこ広場	⑤_遊具 	整備年度	平成 28 年度
		施設概要	コンビネーション遊具
		利用状況	土日や放課後に児童が多く利用している。
		その他	複合遊具、アニマルシーソー、タイヤ遊具 倉庫

南側エントランス	⑥_展望台		整備年度	平成4年度
			施設概要	床面が2階建てレベルの展望台
			利用状況	展望台があることを知らない利用者もあり、PRを要する。
			その他	
	⑦_トイレ		整備年度	平成4年度
			施設概要	男女、身障者用のトイレを備えた施設。
			利用状況	清掃がされきれいに利用されている。
			その他	
	⑧_直売所		整備年度	
			施設概要	物販や軽食の提供を行っている。
			利用状況	お茶を飲みながら談笑するなど利用者の憩いの場となっている。
			その他	
	⑨_サイン		整備年度	平成28年度
			施設概要	公園の総合案内サイン
			利用状況	
			その他	

西側	⑩_芝生広場	整備年度	
		施設概要	緩やかな傾斜を有する芝生広場。
		利用状況	
		その他	
	⑪_水上ステージ	整備年度	平成5年度(H26改修)
		施設概要	柵のない親水性の高いデッキ
		利用状況	舞台イベントなどのステージとして利用されている
		その他	
南西側	⑫_湿生植物の入り江	整備年度	
		施設概要	
		利用状況	
		その他	

ふるさとの 森芸術村	⑬_ふるさとの館		整備年度	平成2年
			施設概要	展示スペースや伝習室を備えた施設
			利用状況	民俗資料を常設展示し期間限定でさまざまな芸術家の作品を展示
			その他	学習会、講習会、会議等のほか、サークル活動等に利用可能。
	⑭_あゆり館		整備年度	
			施設概要	子どもたちのアートギャラリーとして子供の創作作品を常設展示。
			利用状況	
			その他	
	⑮_創作の館		整備年度	
			施設概要	町内外のアーティストの創作活動に伴う宿泊体験施設
			利用状況	
			その他	
	⑯_陶芸の館		整備年度	
			施設概要	造形から乾燥、焼成まですべて行うことができる施設
			利用状況	水曜会、木曜会、土曜会、日曜会の陶芸クラブや体験教室に利用。
			その他	

あゆり大橋	⑰_あゆり大橋		整備年度	昭和 63 年度
			施設概要	大池の中央部に架橋された橋
			利用状況	
			その他	コンクリート杭が目立つ
	⑱_中の島		整備年度	
			施設概要	あゆり大橋中央付近にある
			利用状況	
			その他	
	⑲_東屋		整備年度	昭和 62 年度
		施設概要	あゆり大橋の橋詰に設置されている	
		利用状況		
		その他		
六角堂	⑳_六角堂		整備年度	昭和 62 年度
			施設概要	2階建ての展望施設
			利用状況	
			その他	
	㉑_八つ橋		整備年度	昭和 62 年度 (H24 改修)
		施設概要	柵のない親水性の高い六角堂への誘導動線	
		利用状況		
		その他		

キャンプ場	⑳_キャンプ場		整備年度		
			施設概要	松林にある林間キャンプ場で炊事棟(水栓 8 箇所)、トイレ(男女別棟)が整備されている。	
			利用状況	町への申請のみで無料で利用可能であるため、利用者が多い。	
			その他		
日本庭園	㉑_日本庭園		整備年度		
			施設概要	舟着場、一の池、二の池からなる庭園で休憩所、茶室が整備されている	
			利用状況		
			その他	大賀ハスが植えられている。	
		㉒_休憩所・茶室		整備年度	
			施設概要	一の池、二の池併せて大池を一望できる施設	
			利用状況	お茶会などが定期的開催されている	
			その他	茶室からの眺望 	
		㉓_大賀ハス (別名 2 千年ハス)		整備年度	
			施設概要	平成 3 年に千葉市より譲り受けた。7 月中旬に桃紅色の一重、大輪径 22cm 前後の花を咲かせる	
		利用状況			
		その他			
	㉔_大賀ハスのサイン		整備年度		
		施設概要	大賀ハスを説明しているサイン		
		利用状況			
		その他			

あやめ園	⑳_あやめ園・八つ橋	整備年度	昭和 60 年度
		施設概要	
		利用状況	
		その他	八つ橋には転落防止の柵が設置されている
運動広場	㉑_草原広場	整備年度	
		施設概要	
		利用状況	
		その他	
	㉒_ソフトボール場	整備年度	
		施設概要	ナイター設備を備えている施設
	利用状況	ソフト、野球の練習や中畑清杯などの大会などに利用されている。	
	その他		
池・池外周	㉓_大池	整備年度	
		施設概要	かつての灌漑用のため池
		利用状況	
		その他	
	㉔_アカマツ	整備年度	
		施設概要	キャンプ場、健康広場、ちびっこ広場などにアカマツ林が形成されている
	利用状況	利用者の満足度が高い景観である。	
	その他	アカマツは町の木に制定されている・	

<p>⑳ 遊歩道</p> 	整備年度	
	施設概要	大池公園の外周に設置され、約 2 km の周遊距離を担っている
	利用状況	散歩やジョギング等に利用されている
	その他	
<p>㉑ ベンチ等</p> 	整備年度	
	施設概要	遊歩道に接してベンチ、池と遊歩道の間空間にベンチ・テーブルセットが設置されている。
	利用状況	
	その他	・

1-1-3. 利用者

大池公園は、本町の主な観光施設であり、大池公園の観光客入込数は、概ね 15,000 人前後で推移している。平成 23 年には震災の影響で前年より減少したが、その後概ね増加傾向にあったが、平成 28 年は減少した。

大池公園は、主に町民が、休日、平日ともに朝夕の散歩、ジョギング、犬の散歩に利用されている。休日の日中は、町外からの家族連れの利用が多い傾向にある。

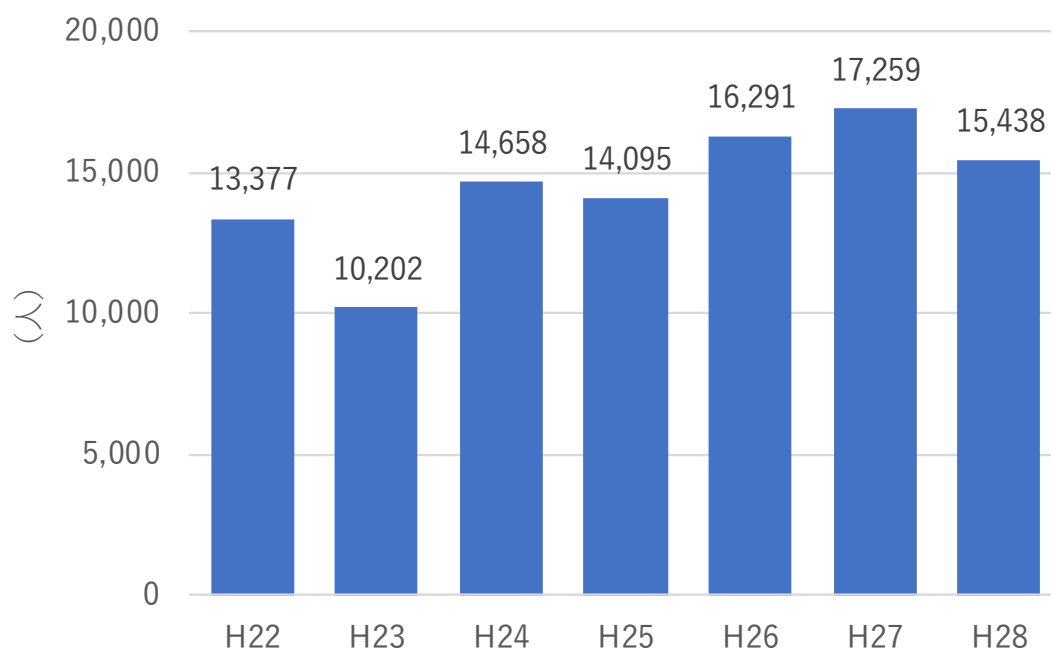


図 1-1-2 大池公園の観光客入込数の推移

(資料：福島県観光交流課「福島県観光客入込状況」)

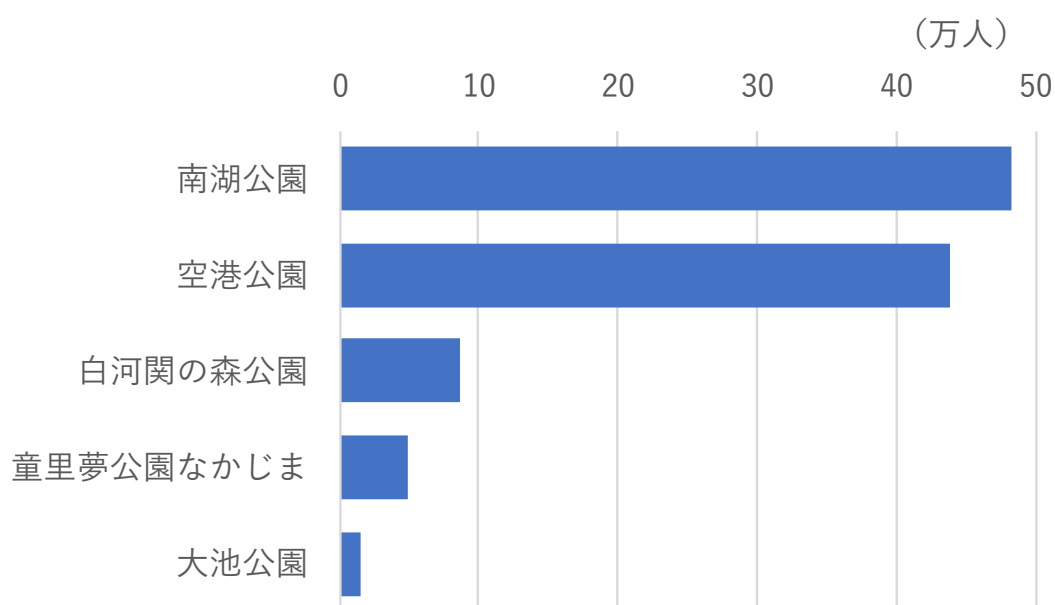


図 1-1-3 周辺公園の入込数 (H28 年)

※1 出典：福島県観光交流課「福島県観光客入込状況」

※2 空港公園のみ H26 年度の入込数 (出典：福島空港公園における参画と協働による公園づくりプラン)

1-1-4. イベント

大池公園で行われているイベント等は以下の通りである。

表 1-1-2 大池公園のイベント

時期	内容	使用施設	備考
4月下旬(日)	しゅんらん春まつり バンドの演奏やよさこい	水上ステージ、大池公園、駐車場	1,000人
5月	スポーツクラブ 大池ウォーキング	公園内	20人程度
7月	町民講座 シニアリーダー野外実習	キャンプ場	10人程度
7月最終(土)	真夏の夜の鼓動 太鼓の演奏、花火、屋台	水上ステージ、ふるさとの森、大池公園、駐車場	5,000人
7月、10月	お茶会(蓮見茶会、あゆり祭)	日本庭園	100人程度
8月上旬 (2年に1度)	矢吹町三鷹市子ども交流会	キャンプ場	100人程度
9月上旬(土)	三鷹市だっしゅ村子どもキャンプ 三鷹市子ども交流キャンプ、フロンティア祭りへの参加	キャンプ場	100人
10月上旬	わくわく健康ウォーキング教室 ヘルスアップ教室とタイアップ事業：正しいウォーキングについて及び筋力アップのため実技	・健康遊具 ・遊歩道	50人

	小学校見学等	公園内	50人程度
H28. 2. 7	区会長主催による植樹・植栽活動「未来に受け継ぐ公園づくり」	公園内 彼岸花 22,000 苗、 花桃 140 本	
H28. 12. 10	地域奉仕団体「ゆう遊クラブ」主催による水仙植栽活動	公園内	



三鷹市交流会



真夏の夜の鼓動



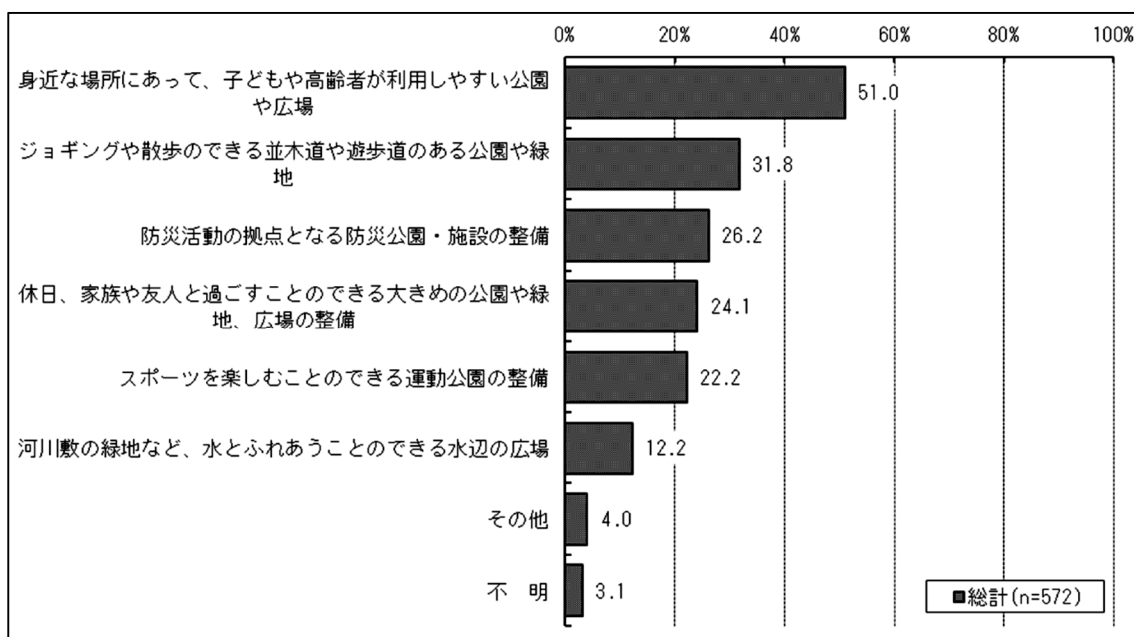
お茶会

1-1-5. 過去のアンケート調査

矢吹町都市計画マスタープランの策定にあたり、まちづくりへの思いや将来の矢吹町のイメージ等について町民意向を把握するために、平成 25 年 7 月にアンケート調査を行っている。

公園・緑地、広場整備に関する優先度の質問（2つまで回答）では、「身近な場所にあつて、子どもや高齢者が利用しやすい公園や広場」が約半数の回答であった。

大池公園は総合公園であり、街区公園や近隣公園のような身近な公園には該当しないが、「子どもや高齢者が利用しやすい」は、町民要望として考慮する事項である。



(出典：矢吹町都市計画マスタープラン p 49)

また、矢吹町の「良いあるいは良くないもの等」の質問で、両方の評価で大池公園が挙げられている。この結果は、自然志向や静的な活動をイメージしている人々にとっては高評価であり、逆に充実した整備や動的な活動をイメージしている人々にとっては低評価になっていることが伺える。

大池公園の評価

良いと思うもの・こと	良くないと思うもの・こと
<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑が多く、散歩や憩いの場 ・ 四季を感じられる ・ 文化的である（芸術村・庭園等） ・ 蓮池が美しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整備されてない ・ 暗い場所があり物騒 ・ 遊具がない（子供が遊べる場所がない） ・ 町外れにあり行きにくい ・ 保全・修繕にお金をかけすぎている

(出典：矢吹町都市計画マスタープラン p 57、58)

1-1-6. 生態的特徴

大池公園の生態的な特長は、ダム湖水を取水し配水する農業利用の貯水池、アカマツの占有する純林、公園整備による管理緑地としての生態的特徴を合わせ持っていることである。公園整備の始まる昭和59年前までは羽鳥ダム湖からの用水を引いた貯水池であり、その後公園整備や農地の転換、農業用水利用の変化で現在の生態的な様相になっている。現在調査中であるが、公園の特徴であるアカマツ林については3種類のアカマツ種が現在確認されており、貴重な生態植生である可能性がある。矢吹町のアカマツは、約800mにわたるアカマツの並木五本松と7.8haのアカマツの一斉林である恩賜林が県自然環境保全地域指定（昭和49年3月22日指定）を受けている。

大池の周辺には、町の木であるアカマツや、サクラ、ハナモモやヒガンバナ、スイセンなども植栽されている。日本庭園の池には移植された「大賀ハス」、六角堂のある北側八つ橋木道付近には園芸種の「スイレン」が植栽され花の咲く時期に多くの来訪者を引き付けている。また、最近サギソウが植栽された。

大池の水域では、静水域と流水域をもつ大きな水面をもつことからハクチョウなど水鳥の渡り鳥の中継休息池として、ヨシやガマの抽水植物群があることからカモやヨシキリなど留鳥、夏鳥などの生活域として生態系ネットワークの拠点になっている。

また、大池公園には40種程度のチョウが確認されており、福島県内で確認されている種（75種）の半数以上が生息している貴重な生育地である。併せて希少種であるチョウトンボが、町に在住する研究者により報告されている。

植物層は、自然の植生と植栽による植生が混じりあっており、昆虫類、鳥類、魚類なども外からの自然進入も見られるが人工的に入れられたものか不明なものもある。大池公園は里山が近く、農地に接するために自然との接点も多いが、公園利用、管理との重なりがあることから自然環境保全地域に指定されるまでに至っていない。



1-2. 大池公園の位置付け

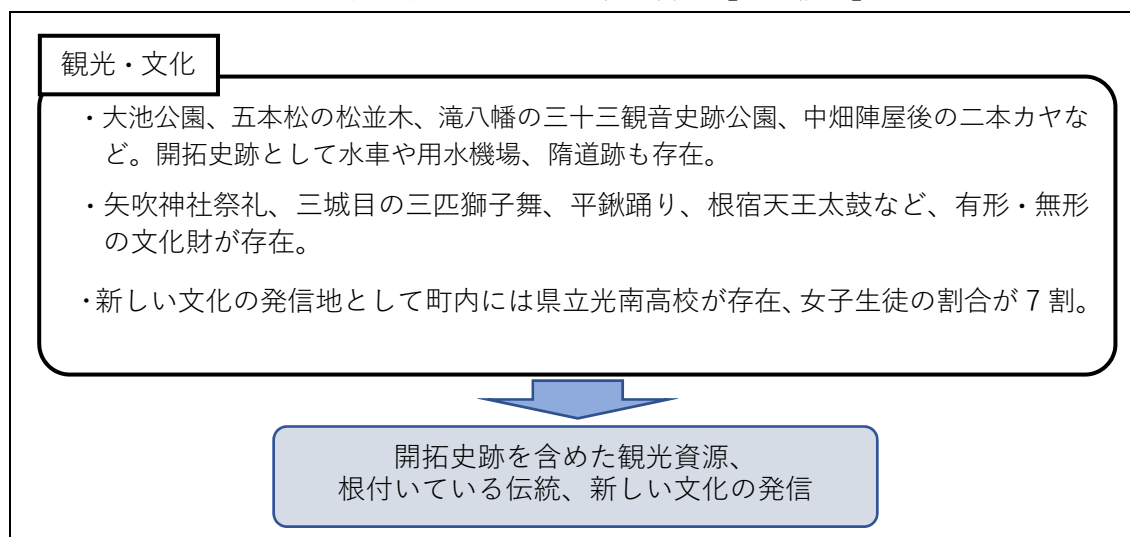
本町の行政計画などにおける大池公園の位置付けを整理する。

1-2-1. まちづくり

(1) 総合計画

第6次矢吹町まちづくり総合計画【基本構想】(平成28年2月)には、矢吹町の強みとして、大池公園は観光・文化資源として位置付けられている。

第6次矢吹町まちづくり総合計画【基本構想】



第6次矢吹町まちづくり総合計画前期基本計画(2016~2019)には、政策分野「くらし」の現状において、大池公園は町を代表する公園のひとつとして位置付けられている。

第6次矢吹町まちづくり総合計画前期基本計画(2016~2019)

政策：5-2 都市計画マスタープランに基づいた街づくりを推進します
現状：1 大池公園や三十三観音史跡公園は、町を代表する公園のひとつであり、町民の生活に安らぎや潤いを与えてくれます。また、道路などに植栽を行い景観形成を推進する花いっぱい運動では、道路愛護団体や企業、行政区など年々参加団体が増加しており、それらの団体に苗木の提供を行っています。

(2) 矢吹町都市計画マスタープラン

矢吹町都市計画マスタープラン(平成28年12月)には都市の将来像として、「さわやかな田園のまち・やぶき」が掲げられている。これは、都市化ではなく対極の概念となる「緑」を重視した住みやすいコンパクトなまちづくりを目指していることが伺える。また、都市づくりの目標である「誰もが住みやすい」「豊かな自然を活かした」からは、豊かな自然がある総合公園である大池公園が担う役割として期待される。

こうした都市の将来像や目標を達成するために「都市機能拠点」が位置付けられているが、大池公園は、都市機能拠点の一つである「水と緑の拠点」に位置付けられ、魅力を最

大限発揮できるように、自然環境の保全を前提として、レクリエーション機能、コミュニティ機能、アメニティ機能の充実を図ることとされている。また、公園・緑地整備に関する基本方針では、「本町を特徴づける緑地等として整備」する公園に位置付けられている。

矢吹町都市計画マスタープラン

■都市づくりの理念

町民の一人ひとりがあしたの安心と潤いのある豊かな暮らしが実感できるまちの実現

■都市の将来像

さわやかな田園のまち・やぶき

～緑とにぎわいに包まれた安全・安心で住みやすいコンパクトなまちづくり～

■都市づくりの目標

①誰もが住みやすい都市づくり

障がいの有無や世代を超えて、子どもや子育てをする世代からお年寄りまで、誰もが安全・安心で快適に住みやすい都市をつくります。

②豊かな自然を活かした都市づくり

環境問題にも配慮して本町の貴重な財産である豊かな自然を保全し、魅力の向上や住みやすい環境づくり等に活用した緑と共生した都市をつくります。

③特性を活かした魅力的で住みたくなる都市づくり

豊かな歴史資源、恵まれた交通条件等を活かして、他都市からも人が集まる魅力的で住みたくなる都市をつくります。

④にぎわいを生み出す都市づくり

中心市街地の再生や操業環境を整える等、町の活力を支える産業の発展を支える都市づくりを進めます。

⑤利便性の高い市街地と自然環境が共生する都市づくり

上記の目標の実現のほか、高齢者の増加や環境問題等にも配慮して、医療・福祉・商業等の都市機能が集約したコンパクトで利便性が高い市街地を形成し、周辺の田園環境等の豊かな自然と共生した土地利用を実現します。

⑥協働の都市づくり

町民・企業等と行政が、それぞれの役割分担の下、連携して将来像の実現を目指す協働の都市づくりを進めます。

■都市機能拠点

⑤水と緑の拠点

大池公園、三十三観音史跡公園、諏訪山保健保安林、恩賜林自然環境保全地域、五本松自然環境保全地域を、本町の優れた自然を代表する「水と緑の拠点」に位置づけ、その魅力が最大限発揮されるよう、自然環境の保全を前提として、適宜、レクリエーション機能、コミュニティ機能、アメニティ機能の充実等を図ります。

(3) 矢吹町まち・ひと・しごと創生総合戦略

矢吹町まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成 27 年 10 月）には、地域特性、課題の一つとして位置付けられ、地方創生事業において「真夏の夜の鼓動事業」「桃源郷の里づくり事業」が位置付けられている。

第 2 章 基本目標と政策分野

1. 矢吹町の特徴

観光・文化

- ・大池公園、五本松の松並木、滝八幡の三十三観音史跡公園、中畑陣屋後の二本カヤなど。開拓史跡として水車や用水機場、隋道跡も存在。
- ・矢吹神社祭礼、三城目の三匹獅子舞、平鋤踊り、根宿天王太鼓など、有形・無形の文化財が存在。
- ・新しい文化の発信地として町内には県立光南高校が存在、女子生徒の割合が 7 割。

開拓史跡を含めた観光資源、
根付いている伝統、新しい文化の発信

2. 分野別の課題

Ⅲ. 「仕事」

- (1) 産業の振興によって働く場があるまちづくり
- ・大池公園の利活用

第 3 章 基本目標別施策

3. 矢吹町への交流・流入人口を増やす

【地方創生事業】

真夏の夜の鼓動事業	大池公園において地元の太鼓団体の育成や県内の太鼓団体を招聘し、「真夏の夜の鼓動」祭りを開催する。
桃源郷の里づくり事業	特定のエリアを「桃源郷」と指定し、将来の観光施設を目指して協働による里づくりを行う。 想定される桃源郷は、大池公園、三十三観音、袖ヶ城跡。

1-2-2. 公園

緑の基本計画の将来像である「水と緑の拠点をつくります」に対して、「本町を特徴づける水と緑の拠点」に位置付けられており、「魅力が最大限に機能発揮されるよう機能の充実等を図る」とされている。

本町には都市計画法に基づく都市公園として、5箇所の街区公園と1箇所の総合公園である大池公園があるが、総面積 20.25ha のうち大池公園（面積 19.40ha）の占める割合が96%に及ぶことから、本町を代表する公園といえる。

1-2-3. 景観

本町の景観は、平坦部に広がる田と丘陵地の山林や畑が一体となって作り出される田園景観と集落を風から守る「いぐね（集落防風林）」が特徴である。

また、都市計画マスタープランには、大池公園は、「かつて『あゆり沼』と呼ばれ、周辺の大地を潤し住民生活を豊かにしてきた大池を中心に整備された大池公園は、四季折々の景観を楽しむことができる住民の憩いの場」とされている。

1-3. 周辺施設

大池公園は、面積 19.40ha と広大な総合公園であるが、敷地のほとんどが池であり、利用スペースとしては限定されてしまう。そこで、当町周辺にある近隣都市で「総合公園規模で池のある公園」についてどのような施設が整備されているかを把握する。

表 1-3-1 周辺の類似施設一覧

名称	所在地	種別	面積
開成山公園	郡山市	総合公園	30.3ha
大槻公園	郡山市	総合公園	27.7ha
南湖公園	白河市	風致公園	44.4ha
翠ヶ丘公園	須賀川市	総合公園	29.9ha
福島空港公園	須賀川市	広域公園	328.6ha
鳥見山公園	岩瀬郡鏡石町	地区公園	約 18ha
童里夢公園なかじま	西白河郡中島村	—	—

開成山公園は総合公園としての施設が充実し、大槻公園は子どもに特化した施設が整備され、レクリエーション機能が高いといえる。

水辺の景観を活かした公園は、南湖公園であり、池を中心とした四季折々の景観を楽しめる公園といえる。また、翠ヶ丘公園は、施設整備を最小限にとどめ、緑豊かな環境を活かしているといえる。

表 1-3-2 周辺の類似施設概要

名称	概要	特徴
開成山公園	<ul style="list-style-type: none"> ・県内有数の桜の名所 ・総合公園として一連の施設が整備されている 	総合公園としての充実度が高い
大槻公園	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年に「子どもの遊び場」が供用開始 ・体験学習館、木製アスレチック、スカイデッキが整備され、子どもの利用施設として充実している 	子どもに特化した施設整備がされている
南湖公園	<ul style="list-style-type: none"> ・国の史跡名勝 ・松、桜、ツツジなどの四季折々の景観が楽しめる ・施設はほとんど整備されていない 	池を中心とした景観を楽しむ公園
翠ヶ丘公園	<ul style="list-style-type: none"> ・自然景観に配慮した施設整備 ・スポーツ施設は整備されていない ・博物館がある ・松明あかしの会場 	緑豊かな公園
福島空港公園	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催 	広大な面積
鳥見山公園	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設が充実している 	スポーツ施設
童里夢公園なかじま	<ul style="list-style-type: none"> ・池、ひろば、森からなる自然を活かした公園 ・スポーツ施設は整備されていない 	小室哲哉氏寄贈のカラクリ時計

名称	開成山公園	所在地	郡山市開成1丁目5	面積	30.3ha
分類	都市公園、総合公園	運営者	郡山市	開園	昭和47年(1972)

公園施設
五十鈴湖、開拓者の群像、バラ園、野外音楽堂、自由広場、児童広場、幼児広場、野球場、陸上競技場、弓道場、D51、郡山市音楽・文化交流館（ミュージカルがくと館）、耐震性貯水槽、駐車場（448台）



現在の開成山公園は、西側の五十鈴湖を中心とする公園部分と、東側のスポーツ施設で構成されており、安積開拓が生んだ貴重な遺産として、今なお市民のオアシスとして親しまれている。

五十鈴湖	野外音楽堂や八角堂（四阿）があり、太鼓橋がかかっている。灌漑用の池として造成された。
バラ園	6月と10月に開園し、約400種、800本のバラが咲く。
野外音楽堂	音響設備や約500席の観客席がある。
D51	国鉄D51型蒸気機関車が展示され、こどもまつり開催時は一般開放される。
サクラ並木	県内有数の桜の名所。1,300本の桜があり、シーズンはお花見客でにぎわう。
児童広場	大型遊具が設置された広場で、児童用。
幼児広場	遊具などが設置された広場で、幼児用。
野球場	建築面積、8,348.2㎡ グラウンド、13,297㎡、観客席数、18,220席
ミュージカルがくと館	総面積、1,893.08㎡ 大ホール、中ホール、小ホール、練習場5部屋、多目的室、和室2室 様々なジャンルの音楽の練習や発表会・コンサートをはじめ、幅広い文化活動・交流の場などに使用。

名称	大槻公園	所在地	郡山市大槻町字漆棒		面積	27.7ha
分類	都市公園、総合公園	運営者	郡山市	開園	昭和59年（1984）	
公園施設	管理事務所、木製複合遊具、池・流れ、スーパーライダートリムコース、水飲み、スポーツ広場（夜間照明付）アニマル、バーベキュー施設、駐車場（200台）、便所					



2016年11月オープン
大槻公園
体験学習施設
子どもの
遊び場



**車で
お越しの場合**
JR郡山駅から約30分、文化通りを湖南町方面に進み、東北道を越えて最初の信号を右折、正面に見える西部体育館の奥になります。専用駐車場24台（その他に西部体育館との共用駐車場あり）

**交通機関
ご利用の場合**
JR郡山駅よりバスで「郡山線由多田野・山田原・体石・御霊橋入口」行き、「大槻スポーツ公園入口」下車、徒歩15分

利用時間 © スーパースライダー／9:00～16:30

長さ210メートルのスーパースライダー、子供が体を動かして遊ぶための「子どもの遊び場」、バーベキュー施設など、子供や家族連れ向けの施設が数多く整備されている。スポーツ施設として夜間照明設備を備えた野球場、郡山市営西部サッカー場、郡山市西部体育館、郡山相撲場、宿泊施設を備えた郡山市青少年会館が併設され、各種スポーツの合宿等に利用が可能である。

スライダー	大人150円/回 子供100円/回 210mのロングスライダー。
トリムコース	山一つがすべてトリムコースになっている。
子どもの遊び場	H28年に新設され、スカイデッキや体験学習館（屋内遊具や絵本）、木製アスレチックがある。
郡山市青少年会館	約100名まで宿泊可能。 集団宿泊研修や団体活動を通じて心身ともに健全な青少年の育成を図るための宿泊研修施設。